

Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report

2023

3

MARCH

らぼニュース

CONTENTS

- 巻頭言 顔の見える学術活動 1
- フレッシュセミナー2023..... 2
- スキルアップ研修会に参加して 3
- 愛臨技 HP 求人情報掲載について 3
- メールアドレス登録と受信設定の
お願い..... 3
- 地区だより(知多) 4
- 会報「らぼニュース」紙面配布
廃止のお知らせ..... 4
- 研究会..... 5
- AICCLS 愛知県臨床検査標準化
協議会通信(第86回) 6
- 著作物紹介..... 6

2023年2月7日現在 正会員数 3,679名

顔の見える学術活動

学術部 部長 神野 洋彰

愛知県臨床検査技師会学術部門の学術部は、今年度から組織強化のため学術部門員を追加し総勢16名(担当副会長、部長、担当理事2名、担当部門員3名、各研究班の班長9名)で構成しています。学術部事業としては新人教育の基礎的な内容を伝える新人サポート研修会を春に開催、年度末には新人から中堅技師を対象とした各種スキル向上に繋がるスキルアップ研修会を開催しています。また各研究班においては1年を通して研究会、講演会、基礎講座を企画し、検査技師のスキル向上や各施設の標準化を考えた研究会や外部講師等を迎え医療現場における最新情報などを発信する講演会、また各部門の専門性を高める実習を中心とした基礎講座を開催しています。

各事業の開催方法は昨年までオンデマンド配信が中心でしたが、1月27日に政府が新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを、5月8日に季節性インフルエンザと同じ『5類』に引き下げることを正式に決めたことから今年は可能な限り現地開催を中心に企画していきたいと考えます。これは『顔の見える学術活動』に繋げる重要な開催方法です。オンデマンド配信は視聴時間の制限や移動の必要もなく、県外参加者も含め数百人規模の参加を可能としています。参加者にとってはフレキシブルな開催方法で、情報発信やスキル向上に一定の効果はあるのは事実です。しかし研究班側からは参加者の顔が見えない、声が聞こえないなど、手ごたえを感じえない研究会や講演会が多くなっています。

学術部事業の中でも研究班活動は最も重要な活動の一つです。各施設から多くの技師が集まり情報交換や企画の立案・実施までを皆で行い、互いを高め合うことが出来る重要なコミュニティーの一つと考えます。皆さまが班員として参加し、臨床検査技師の育成と今後の愛知県臨床検査学会の発展のため共に盛り上げていけることを望みます。



フレッシュセミナー 2023

春一番の恒例行事「フレッシュセミナー」、今年も開催致します。日臨技ならびに愛臨技の技師会活動の紹介と、今回は研究班班員の先輩技師から班活動の紹介だけでなく、担当分野における検査のやりがい、魅力、苦勞していること、新人さんへのアドバイスなどをお話しいただきます。

また、フリートークでは新人さんからの質問に気兼ねなくお答えします。本セミナーは会員・非会員問わず、この春に入職されます新人さんが対象となっておりますので、是非、お声かけしてご参加をお願いいたします。

【基礎教科：20点】

日 時：4月23日(日) 9:50～11:30(9:30より受付開始)

場 所：ウインクあいち 902会議室(9階)

会 費：無料

対 象：新入職者100名(定員になり次第締め切り)

内 容：①臨床検査技師会の紹介(日臨技・愛臨技)
②研究班活動紹介(血液検査・生理検査研究班)
③フリートーク

申し込み：日臨技会員未登録及び申請中での参加も可能です。

愛知県臨床検査技師会ホームページからの申し込みとなります。

(日臨技ホームページではありませんのでご注意ください)

①氏名、②施設名(所属なければ空欄)、③会員番号(非会員は空欄)、④連絡先(メールアドレス)、⑤質問(フリートーク)を入力の上、お申込みください。

注意事項：新型コロナウイルス**感染状況により開催方法が変更になる可能性**があります。詳細は愛知県臨床検査技師会ホームページにてお知らせいたしますのでご確認ください。

締め切り：4月14日(金) (定員になり次第締め切り)

問合せ先：トヨタ記念病院 和出弘章

電話：0565-28-0100(代表)

メールアドレス：aamt@aichi-amt.or.jp

スキルアップ研修会に参加して

藤田医科大学病院 井上 結以

令和4年1月29日に開催された、スキルアップ研修会に現地参加しました。久しぶりの現地開催に参加できたことをうれしく思うのと同時に、今回私は、企画する側としても参加させていただきました。テーマは「高齢者領域の検査解釈」です。加齢に伴って起こる生化学や血液、一般の検査値の変化だけでなく、微生物検査からは感染症について、生理検査からは高齢者の肺機能についても学ぶことができる内容となっています。またボディメカニクスを活かした移乗介助についても紹介していただいております。実際に高齢者をベッドや車椅子へ移乗介助する機会がある部門の方にとっては明日から活用できる内容だったのではないかと思います。R-CPC では症例に対して各部門より、検査値の解釈の仕方から遺伝子解析、治療薬投与による輸血検査への影響に至るまで詳しく解説していただき、検査データを総合的に見ることの重要性を再認識しました。特別講演は、管理栄養士の先生から「高齢者の栄養管理」について、看護師の先生から「褥瘡の予防と管理」について、普段私たちよりも患者様のそばで働いている先生の貴重な講演を聞くことができました。病棟採血を行うことがある私にはとても有意義な内容で、これからの業務に役立てていこうと思いました。来年度の研修会も皆様にとってスキルアップできる内容の提案に努めてまいります。最後に、研修会に参加していただいた方々と、共に企画したスタッフにこの場をお借りして感謝申し上げます。



愛臨技HP 求人情報掲載

愛臨技 HP に臨床検査技師求人情報の掲載を始めました。

掲載を希望される会員は、愛臨技 HP 会員サイト内「各種手続き」、「求人掲載依頼」画面にて必要事項を入力、求人票登録をお願いいたします。

なお、求人掲載は施設会員のみとしますが、求人情報は会員以外でも閲覧可能です。

詳細は愛臨技 HP にてご確認ください。

メールアドレス登録と受信設定のお願い

次ページでご案内のとおり、2023年4月号より『らばニュース』の紙面配布を廃止し、Web 版発行のお知らせを日臨技会員システムに登録されたアドレス宛にメール配信します。その他、重要な情報提供、お知らせなどもメール配信させていただきます。会員の皆様には登録メールアドレスの確認と、変更がありましたら日臨技会員専用ページにて変更手続きをお願いします。また、迷惑メール防止の受信設定をされている方は、下記のメールアドレスからの受信ができるよう、設定をお願いします。ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

jamt_pref23@sys.jamt.or.jp



2015年5月に開院した公立西知多総合病院は急性期医療を主とし結核モデル病床、緩和ケア病床、放射線治療施設を併せ持つ総合病院です。コロナ禍以降、結核モデル病床のある病棟はコロナ専用病床、コロナ疑似症病床として運用しています。当院では2022年より基本理念が変更され「すべては患者さんのために」を胸に職員一丸となり何が一番患者さんのためになるか、住民のためになるかを考えながら日々職務に取り組んでいます。西知多医療厚生組合は東海市、知多市が経営母体となっており患者さんの多くは両市から、近隣では大府市、阿久比町、東浦町、名古屋市南部からも来院されます。また、2023年度末に開業を予定している名鉄新駅「加木屋中ノ池駅(副名 公立西知多総合病院前)」は病院直結となる予定で地域住民の利便性も向上し、病院周囲の交通も円滑になる予定です。

経営母体の両市の紹介になりますが、東海市(人口約11万4000人)は中京工業地域に面しており製鉄業が盛んでランの栽培も有名です。知多市(人口約8万4000人)はウイスキーの蒸留やペコロス、梅などの栽培が盛んで、風光明媚な伊勢湾の海岸線に面しており県内屈指のマリンスポーツの地としても有名です。

今年度は愛知県医学検査学会が知多市で開催されます。学会参加の折やドライブ、レジャー等の際は是非両市にお越しく下さい。



病院西航空写真

会報「らぼニュース」紙面配布廃止のお知らせ

令和4年度総会でもお知らせいたしましたが、毎月発行、配布してきました**会報「らぼニュース」**を今月号限りで紙面での配布を廃止し、**令和5年4月号よりWeb版のみ**といたします。

今後は「愛臨技らぼニュース@号発行のお知らせ」配信メールの本文に記載いたします URL よりご覧ください。また、愛臨技ホームページからご覧いただく場合は、メインメニュー画面の重要なお知らせの右下にあります、「会報らぼニュース」より過去のものも含めご覧いただけますのでご利用ください。

紙面での配布は廃止いたしますが、これまで同様会員のみなさまへの情報共有、情報発信に努めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

研究会

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：4月1日(土) 14:30~17:30

参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
3月1日(水)~31日(金)

定員：80名

参加費用：なし

場所：JA あいちビル 14階大会議室

テーマ：頻出菌を学びなおす

—同定が治療に直結する菌 腸球菌とカンジダ—

講師：

1. 腸球菌 同定と感受性
一宮市立市民病院 木村 達也
2. 腸球菌 感染症と治療
JA 愛知厚生連安城更生病院 杉浦 康行
3. カンジダ 同定と感受性 八千代病院 山口杏理沙
4. カンジダ 感染症と治療
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 原 祐樹

司会：JA 愛知厚生連江南厚生病院 河内 誠

内容：今回の研究会では、同定が治療に直結する菌である腸球菌とカンジダについて、同定感受性から病原性まで改めて学びます。感染対策のため定員を設け、感染対策に十分な配慮をしたうえで開催いたします。

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点(レポート提出者に限る)

閲覧期間：4月1日(土)~14日(金)

参加方法：日臨技 HP から事前登録※
3月1日(水)~24日(金)

※視聴方法は後日メールにて配信

定員：なし

参加費用：なし

レポート：4月27日(木) 締切

配信方法：オンデマンド配信

テーマ：泌尿器科・婦人科・腎臓内科

講師：

1. 泌尿器科について掘り下げよう
~ PSA について ~
(一社)半田市医師会健康管理センター 竹内実菜美
2. 婦人科採血の基礎
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 伊藤 綾香
3. 腎臓 AKI と CKD について
アボットジャパン合同会社 医学統括部 村上 聡

内容：本研究会では、泌尿器科・婦人科・腎臓内科について、腫瘍マーカーなど検査値の解釈の仕方や症例についてお話ししていただきます。尚、当配信

の視聴を希望される賛助会員、学生の皆様は(aamt-chem@aichi-amt.or.jp)に直接お申し込みください。後日、視聴方法について連絡致します。

生理検査研究班

専門教科：20点

日時：4月15日(土) 15:00~17:00

参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
3月18日(土)~4月8日(土)

定員：120名

参加費用：なし

場所：日本赤十字社愛知医療センター

名古屋第二病院 研修ホール

テーマ：認定心電検査技師を目指そう！

講師：

1. 不整脈疾患
JA 愛知厚生連 安城更生病院 谷澤 弘規
2. 虚血性疾患
JA 愛知厚生連 江南厚生病院 小島 光司
3. その他の疾患
半田市立半田病院 西脇 啓太

司会：半田市立半田病院 西脇 啓太

内容：本研究会では12誘導心電図の判読のポイントを改めて学びます。3名の講師が分野毎に問題形式で波形を提示し解説を行います。認定心電検査技師を目指す方、心電図の判読力を鍛えたい方には良い機会です。皆様のご参加をお待ちしています。

なお、新型コロナウイルスの流行状況によってはオンデマンド配信に切り替える場合があります。詳細については事前申し込み頂いた方にご連絡いたします。

AiCCLS

愛知県臨床検査
標準化協議会

通信
(第86回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発行された刊行物、リーフレット「梅毒検査」についてご紹介いたします。

梅毒検査について、医療従事者などに説明する時、その特徴や検査について表や図を用いて、とても見やすくまとめられていますので、是非ご活用ください。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床検査技師会 HP の、臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

梅毒検査

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会 leaflet “梅毒検査”

I 梅毒の病原体

梅毒の病原体は梅毒トレポネマ(学名: *Treponema pallidum* subsp. *pallidum*)という螺旋状菌である。通常の明視野光学顕微鏡では観察されず、暗視野顕微鏡で青い色彩を放つことから pallidum の種名が与えられている¹⁾。梅毒は世界中に広く分布しており、一般的に皮膚や粘膜の小さな傷から梅毒トレポネマが侵入することによって感染する。感染経路の大部分は、菌を排出している感染者との粘膜の接触を伴う性行為や疑似性行為によるものである。

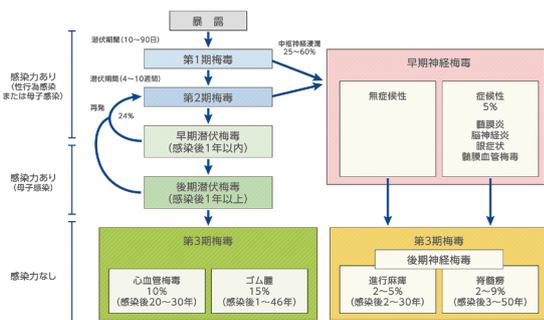


図1. 梅毒トレポネマの電子顕微鏡像(ナガテツ彦) (参考文献1より引用)

感染数時間後、血行性に全身に散布されて様々な症状を引き起こし、全身性の慢性感染症となる。胎児が母体内で胎盤を通して感染したものを先天性梅毒、それ以外を後天性梅毒と呼ぶ²⁾。皮膚、粘膜の発疹や臓器梅毒の症状を呈する顕性梅毒と、症状は認められないが梅毒血清反応が陽性である無症候梅毒とに分けられる³⁾。

II 梅毒の自然経過概要

梅毒は感染後3~6週間程度の潜伏期を経て、経時的に様々な症状が逐次出現する。その間症状が軽快する時期があり治療開始が遅れることにつながる。近年では複雑な進行形態をとる慢性感染症と考えられるようになってきている(図2)。



Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization

IV 梅毒血清検査の流れと結果の解釈

▶梅毒診療ガイドでは、STSとTP抗体を同時に測定することが推奨されている(自動化推奨)。

▶STS陽性でTP抗体が陰性の場合、FTA-ABSで最終確認をする(表2)。また、感染初期の場合もあるため感染の疑いが強い症例には3~4週間後に再度検査を行い、感染初期の梅毒がBFPかの判定を下す必要がある。

▶梅毒関連抗体は、TPIに感染後約1週間ですでにTPIに対するIgM抗体(FTA-ABS IgM)が産生され、続いて脂質抗原に対するIgM抗体、IgG抗体、最後にTPIに対するIgG抗体が産生される(図4)。

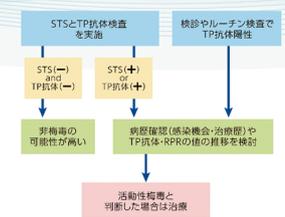


図3. 梅毒を疑う患者への検査フローチャート(参考文献4より作成)

表2. 梅毒血清反応の結果と解釈

| STS | TP抗体 | FTA-ABS | 結果の解釈 |
|-----|------|----------|--|
| (-) | (-) | (検査不要) | 非梅毒 梅毒感染のごく初期(稀) |
| (-) | (+) | 必要に応じて実施 | 梅毒の既往・治療後 TP抗原系の偽陽性(ごく稀) ※梅毒感染初期 |
| (+) | (+) | (検査不要) | 梅毒感染 |
| (+) | (-) | (+) | 梅毒感染初期 |
| (+) | (-) | (-) | 生物学的偽陽性(BFP) |

※2018年策定の梅毒診療ガイドには、RPRが梅毒の活動性を示すことに異論はないが、近年、RPR陰性で梅毒トレポネマ抗体のみ陽性の早期梅毒の報告が増えてきたので、梅毒の診断には特異性の高いTP抗体の陽性を基礎とすべきである、との記載がある。このことから、従来ではSTS(-)、TP(+)の場合、梅毒の既往・治療後であると考えられてきたが、梅毒の感染初期の可能性も否定できない。

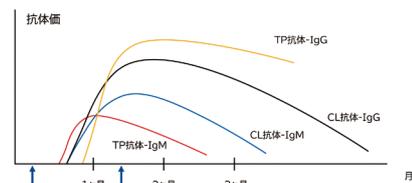


図4. 梅毒抗体価の推移(参考文献6より改変)

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization

会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らぼニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



愛臨技 HP